

木村奈保子の音のまにまに

WEB連載 Entertainment・Essay
 Writen By NAHOKO KIMURA

時代と闘い、ストリートから世界へ

木村奈保子の音のまにまに | 第34号

「本当に愛してるのか？」と(男性に)聞かれて、「私が完全に自立した時に答える」と(彼女は)答えた。

「私は自立したい。それ以外はどうでもいい。私にとってお金とは、”自由”に換算されない」
 BY ココ・シャネル

こんなセリフを聞いて、じーん、とくるのは、キャリアウーマンの疑いだろう。

上記のセリフを残したココ・シャネルは、第一次世界大戦後に、女性の生き方を変えた。小さな帽子店から始まり、世界的なデザイナーになり、実業家であった。

そういえば、映画評論家の小森のおぼやまの店の名前が、「ココ」だった。シャネルの生き様に傾倒していたから、と教えてくれた。
 軽やかな髪を愛用していたわけではなく、そのエール・クッシュ存在に魅了されていたようだ。

デザイナーという仕事を通じて、貴族、政治家、芸術家、ビジネスマンと、一流の看板を持つ人々との愛と交際のなかで、いかに自立した自分を築きあげていったのか？

実は私が、彼女のようなヒロイン像を受け入れるには、躊躇する部分がある。自著「セシル・ウェポン、それは愛ですか、正義ですか？」では、悪女の様に魅惑を投げかけている。女性の自立に、女の色彩(装飾)を使うのは、かえって女性の自立を遅らせるという自説が私にはあり、今後の課題になっている。

しかし、ココ・シャネルの生きた時代そんな理想論など適用するわけもなく、彼女は、愛もビジネスも権力も境界線がなく、ひたすら自立に対する意思を貫く姿勢が根柢にあった。それは、理知的なものではなく、徹底したものだった。

何より、ナチスからユダヤ人の難を逃れさせる絶望のリスクの中で、自立と成功を求めたのだから、露骨な神威とパワーの持ち主ではない。そこには、性的関係もあれば、恋愛もあり、ときには同性愛もある。魅力ある女性を愛する女=ファム・ファタールに位置づけられる喜ぶのは、男性社会には好かないだろう。ココ・シャネルは、ともかく、そんな気持を吹き飛ばしてくれる。



本作は、ココ・シャネルの歴史が凝縮して描かれるショートフィルム。
 映像や写真やナレーションで織るドキュメント方式だが、単なるプロフィールの羅列ではなく、歴史の中の特異な女性のバリエーションがふみ、いたく衝撃を受けた。

現在、ココ・シャネルのブランド権利は、当時のユダヤ人パートナーのファミリーが引き継いでいるという。ココは生活強者で、子供も残していない。
 女性リーダーの誕生の経を、あらためて胸に刺しておきたい。



さて、心配なオリンピックを前に、踊るが、舞うかしかない国で育ったアスリートたちは、いまコロナ禍で、ジレンマを抱えているだろう。

まさに、生きる道は踊るか、舞うかしかない国がある。アスリートか、ダンサーか、その方法しか世界に向かう道がない、そんな環境で育まれた才能には、かなわないとさえ思える。

ブルース・リーもマイケル・ジャクソンも、身体的能力と洗練された技で世界を制した。歴史に名を残した。



本作「LIL BUCK ストリートから世界へ」の主人公、LIL BUCKは、メンフィスのゲットーで踊るストリートダンサー。そんな彼が、これまでのジャンピング・スタイルを超えて、黒人には経験値がないクラシックの域に入った。独自の舞は、彼のアイデアによるものだ。

「ダンスには、基礎が10%で、アイデアが90%」とLILは言う。この動きを、すべてのミュージシャンに届けたいと彼は語っている。



バネの強い、ジャンプがあるブラックダンサーは知っているが、こんなにしなやかな、バードで踊れるスタイルを見たことがない。

マイケル・ジャクソンが彼を見つけたら、きっと喜んでであろう。

そもそもLIL BUCKが、クラシック音楽とからむきっかけは、チェリストのヨーヨー・マが、YouTubeでリルを発見し、共演をオファーしたことから。さらに、二人のコラボをスライク・ジョーンズ(「マルコピッチの穴」の監督)がYouTubeにアップしたことで、映画化の道へと展開する。



ヨーヨー・マとLIL BUCK

映画は、LIL BUCKが本格的にLILのレッスンを受け、クラシックの演奏で強靭に舞う姿が見せ場になっている。同時に、ゲットーから遠い上り、教育により前進する青年の未来を重ねたドキュメントでもある。

ウィーン・フィルハーモニー交響楽団のニューイヤークンサートで、毎年、選抜された美男美女のダンサーたちが踊る映像を楽しみにしているが、いつかLIL BUCKのような異色のダンサーが登場する時が来るのだろうか？

MOVIE Information

『ココ・シャネル 時代と闘った女』



© Slow Production, ARTE France
 出演：ココ・シャネル、フランソワーズ・サガン他
 監督：ジャン・ポリターノ
 ナレーション：ランベル・ウィルソン
 配給：オンリー・ハーツ
 公式サイト：http://cocochanel.movie.onlyhearts.co.jp/

7月23日(金・祝)よりBunkamuraル・シネマ館にて全国順次公開

『LIL BUCK ストリートから世界へ』



© 2020-LECHINSKI-MACHINE MOLLE-KRATEN "JAT" ARMMER JR-CHARLES RILEY

原題：LIL BUCK REAL SWAN | 2019年 | フランス・アメリカ | ドキュメンタリー | 85分
 監督：ルイ・ウォレラン
 配給：ムヴィオラ
 公式サイト：http://moviola.jp/LILBUCK/

8月20日(金)よりヒューマントラストシネマ渋谷、新宿シネマカリテ、アップリンク首狩等他全国順次公開



木村奈保子
 作家、映画評論家、映像制作者、映画音楽コンサートプロデューサー
 NAHOKIマガジンデザイナー、ヒーローインターナショナル株式会社代表取締役
 www.kimuranahoko.com

NAHOK Information



木村奈保子さんがプロデュースする「NAHOK」は、欧州製特殊ファブリックによる「防水」「盗難防犯」「衝撃吸収」機能の楽格ケースで、世界第一級の演奏者から愛好者まで広く愛用されています。
 Made in Japan / NAHOK from Germany
 問合せ＆詳細はNAHOK公式サイトへ

PRODUCTS



レストトート「Swing」(フルート、オーボエ、クラリネット対応)
 ネットの厚み21cm⇒13cmの厚みにしてDカンも取り付けた普段使いのレッスン用トートバッグ。
 昨今NAHOKは、一枚立てのリュックも人気ですが、女性向けにはトート型が持ちやすいですね。
 *Dカン厚付き、横幅13cm

>>BACK NUMBER

- 第27回 | 私たちを助けた、その星をどうして
- 第28回 | 美濃の精進による、シズメとセリシズメの結成
- 第29回 | 「メロリスボス」の音楽は、いつ終わるのか?
- 第30回 | 「わきまえる女」の時代は誰が?
- 第31回 | すべての女性音楽家に「RESPECT」を込めて
- 第32回 | 想像だけがゴールではない
- 第33回 | 送られない雨と向き合う鼓動



最新の記事

送られない「雨」と向き合う鼓動

- MeTooの土壌、日本では? | 木村奈保子の音のまにまに | 第2号
- 女性の告発に、なぜ目をつぶるのか | 木村奈保子の音のまにまに | 第9号
- 知るべきすべては音楽の中に――楽譜を通して自分を表現する | 木村奈保子の音のまにまに | 第7号
- ヒロイックな女たち | 木村奈保子の音のまにまに | 第5号
- エリック・クラプトン〜サウンドとからむ生きざまの物語〜 | 木村奈保子の音のまにまに | 第3号
- 新しい生活様式とともに、新たな文化を〜 | 木村奈保子の音のまにまに | 第22号
- ゆこそ、Go to シアター! | 木村奈保子の音のまにまに | 第26号
- 平昌オリンピックと音楽 | 木村奈保子の音のまにまに | 第1号

THE FLUTE お知らせ



THE FLUTE vol.182
 THE FLUTE | バックナンバー
 FLUTE CLUB入室・更新はこちら
 FLUTE 編集部へ

ENTRY 投稿・応募
 >>> THE FLUTE アンケートへ



Brand guide
 メロノームと上手に付き合うと楽器がうまくなる
 KORG KMW-3

フルート記事

オリビアを聴き... SOUNDSCUD

- オリビアを聴きながら | 吉里 ▶ 1.6K
- 思っていてやりきれない | 村上啓 ▶ 851
- あいつはイートビー | 松田聖子 ▶ 942
- 若者たち | 森山康太郎 ▶ 635
- 未来学園 | Dreams Come True ▶ 663
- 学をみらぬでいい | 岡村孝子 ▶ 798
- 恋はみらい | Lamour est bleu ▶ 631
- ロビンソンズビッツ ▶ 889
- 恋の雫に恋してる | Can't Take It... ▶ 862
- PIECE OF MY WISH | 舟井優 ▶ 662
- Hello, Again〜昔からある場所〜 | ▶ 3K
- Can You Celebrate? | 交響楽団 ▶ 2K
- 負けないで | ZARD ▶ 950
- 愛をムコウ | SHAP ▶ 741

フルート記事 詞フルート記事



The Flute ギャ・フルート
 どのページに「LAVAD」 ▶ 2.6K



The Flute ギャ・フルート

オンライン連載 🔗 リンクのフルートしりとり
 公開しました👏
 先 ▶ もっと見る

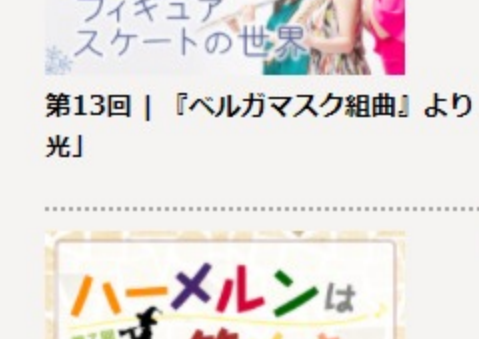
読者 コメント シェア

HOT VIEW

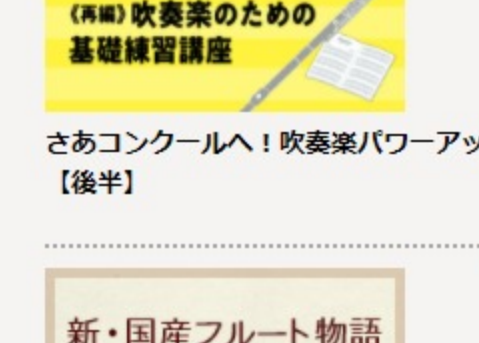
今話題の人気記事



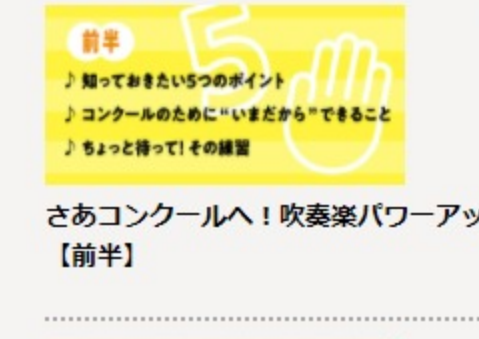
時代と闘い、ストリートから世界へ



フルートデュオ ア・ラ・カルト



第23回 インタビュー 田代純一〜新しい価値観を、次の世代へ〜



第13回 「ハルカマスク組曲」より「月の光」



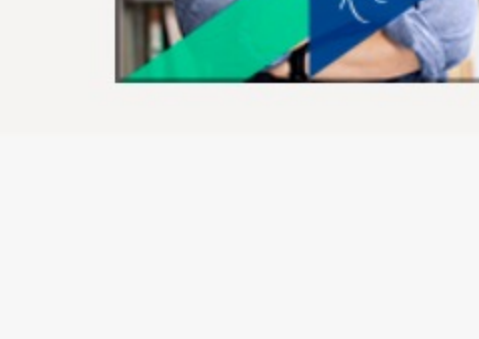
ハーメルン は 笛吹き | 第7回



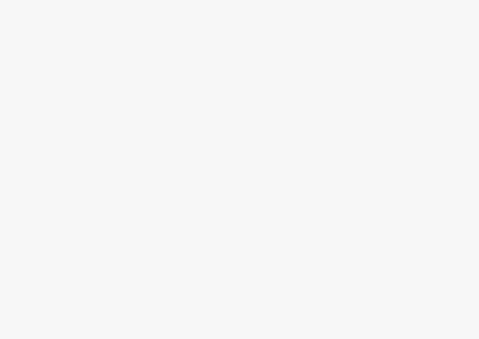
【#4】演奏者のための基礎練習集



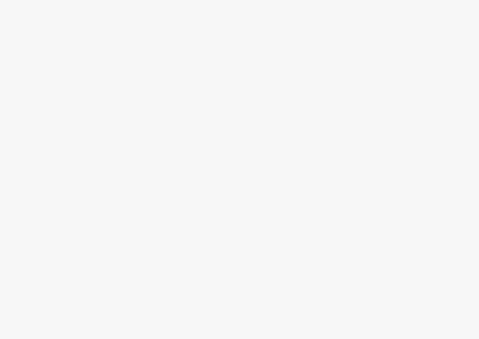
【#15】新曲フルート曲 アイデアを形にする、驚くべき探検心〜オクターブ



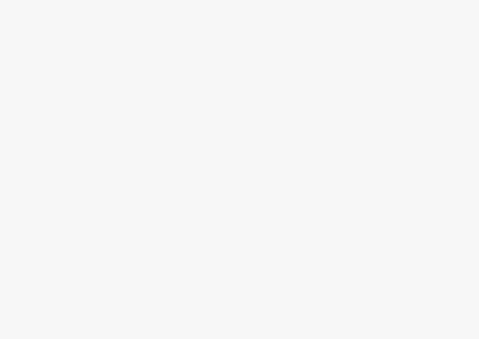
【#4】演奏者のための基礎練習集



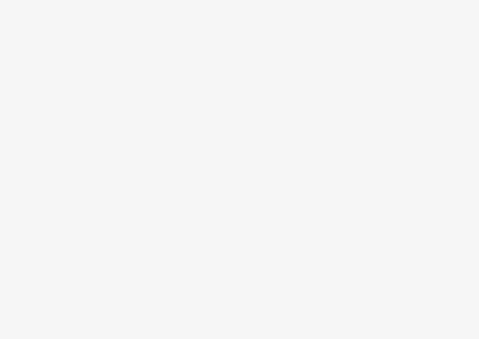
【#14】ふたたび、「あふれる光と星の夜」



フィッダのピッコロリゼット講座 第12回



フリーランスや副業、個人事業主に
 ペイパル決済
 スタートかんたん
 無料新規登録



ペイパル決済